

第2次亀山市障がい者福祉社計画（案）に係る市議会意見とその対応

（個別意見）

No.	意見箇所		提出された意見	市の考え方	修正点等
	頁	項目			
1		SPコードについて	・障害者差別解消法の趣旨から考えると、市の発行物全てに、SPコードは付すべきであり、音声データ配布と並行した形で残していくべきである。地域自立支援協議会等で、どのような意見が出ても、行政として、SPコードと音声データ両方で展開していくと説明すべきである。	本計画は、100 ページを超える冊子となるため、視覚障がい等をお持ちの方が1 ページずつを読み取る形式でなく、合理的配慮に対応すべく、全てのページを肉声で収録したCDを必要とされる方に配布することとしたところです。 なお、当該内容について近隣の鈴鹿市、伊賀市、名張市などに確認したところ、従来からも掲載しておらず、今回もSPコードは掲載しないとのことです。	修正点等なし
2	27 28	(2) 基本目標 (3) 計画の体系 3 自立した生活のできる体制づくり (6) 自立生活のための環境整備②ユニバーサルデザインのまちづくりの推進	・「障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう関係部署と関係機関とが連携した支援を行う」や「自立した生活ができるよう、環境整備を進めます」と表記されている部分については、「井田川駅をはじめとする無人駅については、JRと連携し、障がい者が一人でも利用可能になるよう改修を進めます」など、もっと具体的な目標を表記すべきである。	「障がいのある人が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう関係部署と関係機関とが連携した支援を行う」の箇所は、施策の方向における個々の取組内容を網羅できる内容を、基本目標として全ての施策に係るよう、記載しているところです。 また、「自立した生活ができるよう、環境整備を進めます」の箇所の具体的な書き込みは、本計画では主に施策として取組内容を記載しています。より具体的な事業等は、本計画の実施計画で取り組むこととしており、ご意見の内容は、その中で取組例の一つとして、関係室に伝えながら、連携を図り対応したいと考えます。	修正点等なし
3	31	【取組内容】 ②障がい者団体への支援	・「障がい者団体の活動を支援」とあるが、支援内容を具体的に表記すべきである。	ご意見を踏まえ、具体的な支援内容の一つとして、活動資金の援助を追記することを検討しますが、当該計画に係るパブリックコメントの結果を踏まえ、変更したいと考えます。	P31【取組内容②】 【対応案】 ②障がい者が互いにつながり、支え合いながら、いきいきと自立生活を送っていただけるよう、活動資金の援助やピアカウンセリングの開催など、社会福祉協議会と連携しながら障がい者団体の活動を支援します。